

## 英語科

# 中学2年生におけるスピーチ指導

三小田 博 昭

**【抄録】** 中学2年生の単語量でどこまでのスピーチが可能であるか、また、その事前指導、事後指導をビジュアル面から考え、実践してみた。

**【キーワード】** スピーチ アイコンタクト 環境作り ビデオ撮り ビデオ鑑賞会 事前指導 事後指導

### はじめに

中学生のスピーチ指導においては、これまでも数えきれない程の実践、論述、理論がいろいろな場、そして書物でなされてきている。そして、その報告も教育現場のみならず、マスコミの場でも数多く取り上げられている。今回はそれらの実践にとらわれることなく、自分自身の取り組み、実践をまとめ、報告したい。

まず、この実践を行った対象は中学2年生2クラス（男子38名 女子41名）であり、時期は学校祭あけの10月である。この時期までの習得英文法は、基本3時制と進行形、不定詞、比較表現それに若干の助動詞のみであり、教科書による習得単語数も約250程度である。

生徒にとってこれまでの英語学習は、音読を中心としたいわゆるコーラスリーディングや文法項目を学習する時に、その構文の単語を置き換える発展学習が中心であった。作文においては、文法習得のための、教師が与えた日本語の英作であり、自由作文でも、「この文法事項を利用して作りなさい」、といった具合に大きな制約が必ずがついていた。生徒にとってみれば、今回がまさに、はじめての自由作文であり、自分の考えを、英語で表現してみる機会であるといえた。

指導段階として生徒に「スピーチをしますので、なんでもいいから自由に英語で作文をきなさい」、というのでは全くのスピーチ初心者がよい結果につながるはずもないため、教科書（NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition SANSEIDO）LESSON 7 My Dream を学習の上、それと同じ題名 My Dream でのスピーチ指導にあたった。

### 指導過程

1. 教科書 My Dream を学習
2. 教師によるモデルスピーチ
3. スピーチ原稿の作成
4. スピーチ原稿を教師と一緒に手直し
5. 教師とともに、スピーチの練習(個人)
6. 教室でのスピーチ実践 (ビデオによる撮影)
7. 聴衆 (クラス生徒) によるスピーチ評価
8. クラス全員でビデオをみながらの自己評価

### 指導上の留意点

#### ①原稿作成上の注意項目

1. スピーチ原稿を作る際に辞書は使用しない。  
よくスピーチ原稿を作成する時に辞書を引いて英単語に直していることがある。スピーチは、聴衆がそのスピーチを理解してこそ、スピーチが成り立つのであって、大多数の生徒が理解できない未履修の単語を使っても意味がない。そのためできるだけ、これまでに履修した単語を使うことを指導した。どうしても未履修単語を使用する際には、その単語を使った後、改めて、簡単な表現でその単語を極力説明させるようにした。ただし未履修単語であっても、日本に浸透している単語は、英語での発音をする条件で認めた。
2. 文法的な誤りにはあまり気にしない。  
文法を正しく使うことに捕らわれて、自由に表現しにくいことが、よくある。そこで、今回は、多少怪しい文法や表現があっても、それにあまりとらわれることなく、作文することにした。ただし、あまりにもおかしい場合には、教師とともに、その訂正をした。よって、できあがったスピーチ原稿には、ネイティブが聞いたとしたら訂正したくなるようなものも多数含ま

れているが、言いたいことがほぼ相手に伝わると思われるものは、そのまま残してた。多くの生徒たちは、これまでの英語学習の上で、文法的に正しい英文を作る練習をしてきた。また、テスト（小テストも含む）でも、文法がすこしでも違っていると正解にはならなかった背景があり、完全な英文を作ろうとするために、文章が全く書けなくなってしまう。英会話の授業でも同じことがいえる。間違いのない英文を話そうとするがゆえに、言葉に詰まる姿をよくみかける。別な表現をすれば、テストでよい点数をとる生徒のほうが、英会話での発言が少なく、かえって、あまり文法にこだわらない生徒のほうが、ネイティブとの会話を楽しんでいるように思われる。そこで今回は、文法事項にあまうりこだわらないスピーチを試み、意志の疎通に重きを置いた。

②スピーチをする上での注意事項

1. 原稿を丸暗記してスピーチ当日に臨まない。

通常スピーチというと、事前にスピーチ原稿を暗唱し、繰り返し練習をしてから、本番に臨むのだが、あえて原稿の暗唱はしないことで統一した。理由は、原稿を暗唱してスピーチをすると、頭の中にある原稿を絶えず思い出しながらスピーチをするために、聞き手不在のひとりよがりなスピーチになってしまい、聞き手にその意図が伝わりにくいことがあるからである。特に、これまでスピーチを日本語でもあまりしたことのない、経験の浅い生徒たちにとっては、スピーチを、増して英語ですとなれば、原稿を思い出すことで、精一杯になり、人に伝える、聞いてもらうというスピーチで一番大切な面があ欠如してしまうのを防ぐためである。

しかし、まったく原稿を読みながらスピーチするのは、いかにも味気なくなってしまうために、ニュースキャスター式とでもいうか、極力原稿をみずに、ただし、次を忘れてしまったり、確認のために原稿を机の上においてよいこととした。これによって、スピーチ内容を忘れてしまっても大丈夫という安心感であろうか、多くの生徒がのびのびと発表することができた。

2. アイコンタクト

暗唱した原稿を思い出しながらのスピーチは、目線が上を向いたり、定まらなかつたりする。聞き手との距離を縮めるためには、やはり、スピーチの基本であるアイコンタクト抜きでは考

えられない。しかしこのアイコンタクトは簡単そうにおもえて、多くの生徒がうまくいかないものである。アイコンタクトを本人はしているつもりでも、聞き手からみると、視線が全く定まっていなかったり、にらまれている様にかんじたりと、スピーカーにとっては難しいものであったようだ。

③スピーチをする、聞く、環境作り

教室で次から次へと生徒が入れ替わり立ち代わりスピーチをするのでは、聞き手も飽きてくるだろうし、またなかなか順番がまわってこない生徒は、自分の原稿チェックや、発音練習を始め、他の生徒のスピーチを聞く態度がしっかりとできなくなるおそれがある。そこで今回は毎時間5人の生徒が発表することとし、聞き手の集中力の持続を計るとともに以下の点で工夫そこらしてみた。

1. スピーチについて聞き手がメモをとるための評価表を作成。

	CLASS	NO	NAME
1			将来の夢は何ですか。
2			その理由は何ですか。
3			あなたはスピーチをどのくらい理解できましたか。 %
4			コメント

3の理解度については、聞き手のおおまかな理解度を書いてもらった。その理解度にはあくまでも個人の満足度に起因するために、信憑性は当然うすいのだが、一生懸命スピーチに耳を傾けようとする姿勢には役立ったといえる。またこの評価用紙を最後にスピーカーにフィードバックすることで、自分のスピーチがどのように、聞き手に伝わったのか自己評価することもできた。

2. ビデオ撮り。

すべてのスピーカーをビデオに収めた。ビデオで撮られているという意識があるためか、ほとんどの生徒がスピーチに積極的に参加していた。またそれ以上に、後ろにあるカメラを意識することで、声のとおりがよくなり、主役としての自己をスピーカー本人が感じることができた。またすべてのスピーチが終了した後でビデオ鑑賞会のような自己反省会につなげることができて、事後指導にも役にたった。

スピーチ実践例

女子 1 単語数98語

Hello everyone.

I want to be an announcer. Do you know why?  
First I like to watch TV. So I want to be on TV.

Second an announcer's working place is in a TV station. A TV station is also a working place for many entertainers. So when I am an announcer, I can meet a lot of entertainers.

Lastly I believe an announcer's work is good for me. Because I can eat delicious foods when I report a program. An announcer can get on a helicopter, too. An announcer can do many things without money.

Thank you.

女子 2 単語数71語

Hello everyone.

I want to be a kindergarten teacher. Do you know why?

First I like children. So I want to take care of children. I want to sing many songs, dance and write pictures with children.

Second children's smiles are the best. They give me energy and they make me happy.

Lastly I want to be a kind teacher. I want to be a teacher with mother's mind.

Thank you.

女子 3 単語数77語

Hello everyone.

I want to be a musician. Do you know why?

First I like music very much. When I am listening to music, I'm very happy. So I want to make good music for many people.

Second I like concerts. I want to enjoy my concerts with my band members, concert staffs and

fans.

Lastly I want to be a famous musician in the world. I hope to do my concerts all over the world.

Thank you.

女子 4 単語数162語

Hello everyone.

I want to be a Disc Jockey. Do you know why?

First I like to listen to the radio and music. I like a FM radio station, some screen music and classical music. I'm very happy when I'm listening to them.

Second when I was in trouble, a DJ gave a lot of power to me. So I want to be a good DJ in return. When I say "good", I mean "heart". The DJ's delightful talk is very interesting to me. I want to give some dreams and hope to my listeners like him.

Third music is necessary for all of us. Because music relaxes and encourages us greatly. We can also understand people in the world by music.

Lastly we can imagine another world. For example we can imagine foreigners' happiness and many things from the words of a song. So I'm going to study English and Japanese very hard to be a good DJ.

Thank you.

男子 1 単語数72語

Hello everyone.

I want to be a computer programmer.

First I like to play computer games. I want to make my own computer games. And I want to play with it. So I want to do not only playing but also creating.

Second we must use computers in the future. So I think the ability for using computers will be useful for me. I hope I can use computers soon.

Thank you.

男子 2 単語数64語

Hello everyone.

I want to be an auto racer. Do you know why?

First I like a motorcycle. My brother has a motorcycle.

Second when I watched TV about an auto racer, I thought he was very nice. A motorcycle is very interesting. I often think about auto racer.

Lastly I want to drive very fast. Driving very fast is my dream.

Thank you.

男子 3 単語数86語

Hello everyone.

I want to be a professional baseball player.

First I like to play baseball.

Second I like Shouda in Hiroshima and Kawai in Kyojin. They are good baseball players. I want to play like them. And I want to get the Golden Glove Prize. When I play good in a game, I will be very glad.

Lastly playing baseball is good for our health. Playing baseball may hurt our shoulder and knee. But I think my mind is healthy all the time. Thank you.

男子 4 単語数94語

Hello everyone.

I want to be a teacher. Do you know why?

First I like Japanese geography very much. I like it better than any other subject. I want to study it. And I want to teach it to my students.

Second I like playing tennis very much, too. So I want to teach it in the club at school.

Lastly I want to travel around Japan and see many places. And I want to tell my students about them. I want to make these my dreams come true in the future.

Thank you.

## 事後指導

スピーチは各クラス単位で行ったため、他教室のスピーチをみるため、また自分のスピーチを改めてブラウン管を通して第三者的にみるために、全スピーチが終了した後日、図書館の大型テレビでビデオ鑑賞会を催した。

そして、その場で自分のスピーチを見ての振り返り、反省をし、またよいスピーチとはどのようなものなのかをクラス単位で話し合ってみた。自分の姿を大型モニターでみるということ自体に多くの生徒が戸惑いを隠しきれない様子であった。

①自分のスピーチを改めてみてどう感じたか。

- ・ 目が気持ち悪かった。声が自分で聞いている声と違ってびっくりした。早口をみんながフイ

ードバックしてくれていたけど、本当にその通りだった。もっとゆっくり言えばよかった。最後のほうは、下を向いて原稿ばかりみていたので、前を向いて言えるようにしとけば、よかったなあと思った。

- ・ 下をみすぎていて、あんまり自分の将来の夢について発表していないみたいで、感じが出ていなかった。1つの文のピリオドのところで、きってなかったので、文と文の終わりのところがよくわからなかった。でも声はしっかりと伝わっていたのでよかった。

- ・ 声の大きさと速さはちょうどいい感じでもよかった。あんまり、声の震えはわからなかったけど、緊張していたのは確かだったので、これから気をつけたい。視線を大分みんなの方に向けていたので、結構よかったと思う。文の強弱がほとんど全部一緒だったので、とまどってしまった所が何箇所もあった。

- ・ 緊張しすぎて、いっぱい間違えていた。せっかく前を向いていえるくらい練習したのに、下を向いてしまった。あと習っていない単語を使いすぎたので、みんなに通じていなかったと思う。
- ・ 今と顔がすごく違う。最初から最後までずっと笑っていて、ちょっと聞き取りにくかった。わからなくなった所や詰まったところで、ゆっくりになりすぎて何を言っているのかよくわからなかった。カメラ目線だったけど、2回ほど下を向いてしまってしまった。

- ・ 声が小さすぎでいってることがわからなかった。当時自分では結構ゆっくりと言ったつもりが、自分で聞いてみると、自分でも何を言っているのかわからないぐらいに、速い。単語と単語の間が開いていないから、ゴニョゴニョ言っていて聞き取りにくい。強弱がないので、主題が何かもよくわからなかった。

- ・ 笑っていた。下を向いてしゃべっていることが多かった。笑いながらしゃべっているときに、何を言っているのか聞き取りにくい。短くて簡単な単語ばかりだったので、みんなにわかってもらったと思う。もっと難しい単語も話せるようになりたい。

- ・ 自分で思っていたよりもうまくできた。でも声が少し小さかったかなと思う。視線もさまよっていた。発音はまあまあよかたんじやないかなと思う。全体を通して、まあ普通でした。周りと比べても、見劣りもしなければ、うまくもいってなかった。

②ビデオを見て、どんなスピーチがみんなにわかってもらえると思うか

- ・ すらすら原稿を読めるようにしておくことだと思います。そして姿勢を正して堂々とはっきり前をみて話す。そして自分のスピーチに自信をもって話すことだと思いました。また声の大きさも自信があれば自然と大きくなるしやっぱりはっきりしゃべらないといけないと思いました。
- ・ 上を向いてアイコンタクトを行い、はっきりと大きくそして難しい単語をなくし、みんなが習ったことのある単語を多く取り入れて、表現、強弱をつけて読むといい。
- ・ はっきりしゃべって声を大きくする。できるだけ視線をみんなの方に向ける。文の中でアクセントをつける。文の途中で戸惑ったりしない。文と文の間をしっかり取る。
- ・ ゆっくりしゃべること、なるべくわかりやすくすること。下を向かずに、みんなの顔を見てしゃべることが大切だと思う。あとは話す内容をしっかりまとめてスピーチする。笑ったりしないことも大切だと思う。まわりの人もスピーチをしているときには静かに聞くのがマナーだと思う。
- ・ 口を開けてはっきりとゆっくりと聞き取りやすいように話す。スピーチを聞いている人たちの目をみて話す。難しい単語(専門的なもの等)はわかりにくいときもあるので、簡単な英単語で説明してわかりやすくする。あと愛想よくすることも大切である。
- ・ あんまり文章が長いと集中力がなくなってしまうから、短すぎず、長すぎない文がいいと思う。顔のあたりや、髪をさわりながらスピーチすると、そっちに目がいってしまって、文が聞き取りにくくなる。顔が前を見ていても、目が上を向いている人がいるから変なかんじがした。

事前指導の段階でスピーチの手ほどきをいろいろとしたつもりであったが、頭では分かっていたても、いざ自分の順番がやってきて、壇上にたつともうあわててしまう様子がみてよくわかった。また、この事後学習、ビデオ鑑賞会をすることで、また自分のスピーチをかえりみて、その上で生徒自身がではよいスピーチをするには、どんなことが必要であるのかを、自分で発見し、実感して学んでくれたことをとても評価したい。多くの生徒が述べているように、

- ・ アイコンタクトに気を配り
- ・ 原稿に気を取られず、聞いている人を意識して、

- ・ スピーチに強弱、アクセント、間合いをとり、
- ・ 履修した単語を用いて
- ・ 大きい声ではっきりと
- ・ 自信をもってスピーチに臨めばさぞや素晴らしいスピーチになるに違いない。それができるかどうかは別にして、実体験としてわかってくれただけでもスピーチ指導に時間をとってよかったと思う。

### おわりに

事後指導も終わり、学年全体に今回の英語でのスピーチについて各自率直な感想を思ったままに書いてもらった。

- ・ 普段日本語ではいわない将来の夢ということ英語でいえてよかった。もっとたくさんの単語や文法を知って、アメリカ人のようにペラペラと英語がしゃべれるようになりたいと改めて思った。英語をしゃべる人はとてもかっこよく思える。でもそういう人は結構はやくしゃべっている人が多いので聞き取りにくい。これからはしゃべる力もそうだけど、聞く力も身につけたい。
- ・ 頭の中の日本語を英文にするのが大変だった。先生がみんなに分かってもらえるように、分かりやすくしてくれたので助かった。スピーチをする前に先生に聞いてもらっているときは失敗ばかりしていたからあ、本番でうまくいくかどうか不安だった。発表が終わってからみんなにちゃんと分かってもらえたか気になっていた。
- ・ 普通に発表するのは、総合人間科などで、やったことがあるけど、英語でみんなの前でスピーチするのは初めてだから普通に発表するときより何倍も緊張した。でも英語でスピーチするなんてこれから先、あまりあることではないので、すごく貴重な体験だし、勉強になったと思いました。
- ・ 英語のスピーチでもスラスラ読めばいいだけだと思っていたけど、実際はとてもゆっくりなのが意外だった。でもスピーチと英文読みは違って、スピーチは初めてだったのでとても興味が湧いて意欲がでて楽しく演説することができてよかった。また機会があったらやありたい。
- ・ 難しかった。自分の頭の悪さを思い知らされた。もっとまじめに勉強しなきゃだめだと思った。でも日本語でスピーチするよりも英語でスピーチするほうが恥ずかしくないのでもいいと思った。スピーチする文を考えるのは難しかったけど、またやってみたいと思った。
- ・ はじめは簡単だと思っていたけど、今まで習った単語をなるべく使って文を作ることが難しかった

た。単語の発音でも walk と work は違うとか、今まで適当にしてきたことが悔やまれた。話してみても、自分が外国人になったみたいで、たのしかった。全体的な意見としてはまず「難しかった」が一番であったが、でも「楽しかった」と続き、3割程度の生徒が「また機会があったらやりたい」と結んでいた。確かにまだ英語を学校組織で学習し始めて、1年半の状態ですピーチをすることに無理はあると思うが、それを承知の上ですして制約をあまりも受けず、文法のあやまりにも目くじらをたてずに、発表会感覚で気楽にできたことがよかったと感じる。また英語嫌いがちらほらとでてきて、また英語に対する興味関心が薄くなってくる時期に楽しくスピーチをする中で、また英語に対しても、学校生活に対してもよりを戻してくてたらなあという意図も含んだスピーチ指導であった。最後に大多数の生徒から上手い支持のあった3つのスピーチを紹介したい。

be a very kind person.

Second children are poor in health and so they can get sick easily. Many children are dying in the world now. I feel very sad because children die without knowing a lot. I want to save them from sick and help their family from sadness.

Lastly I want to be a kind children's doctor. I want to be a doctor and know their worries and loneliness and help them. If children always have hope, I will be very happy.

Thank you.

Hello everyone.

I want to be an interpreter of English and German.

First I like to study and speak English very much. So I want to speak English better.

Second when I was watching TV, an interpreter was on TV. Then I thought that she looks nice.

Lastly I want to work for other people. And I want to change their language into English and German.

Thank you.

Hello everyone.

My future dream is to be a writer.

First I like reading books. I think books are very important for us. We can learn lots of things from books. Also we can imagine lots of things that we can't do in our real lives.

Second I like thinking stories. Making up stories is very fun. I want to make stories that have a dream. It isn't easy to be a writer. But it is a wonderful job. I want to do my best to be a writer.

Thank you.

Hello everyone.

I want to be a children's doctor. They are very pure and very cute. I like little children's smiles. When I am with little children, I am happy and I can